

同時発表

徳島県政記者クラブ・民放記者クラブ  
四国交通記者クラブ

平成28年2月19日

物流審議官部門物流政策課

## 政府初、無人航空機による貨物輸送実験を行います ～空からスグにモノが届く、過疎地での近未来のサービス実現に向けて～

国土交通省は、2月24日（水）、無人航空機を活用した買い物代行サービスの事業化を構想している MIKAWAYA21 株式会社（本社：東京都港区）と共同で、徳島県那賀町鷺敷地区において、無人航空機による貨物輸送実験を実施します。

### 1. 実験の背景・目的

- 無人航空機は、近い将来、人手を掛けずに、短時間で貨物を届けることのできる輸送手段として、日々の暮らしをより便利で、豊かなものとするのが期待されています。
- 国土交通省では、安全確保を前提としつつ、早期事業化の実現に向けた環境整備に取り組んでいます。
- 今回は、早期事業化が期待される過疎地での実験を通じ、運搬時の貨物に与える衝撃度を計測するほか、地区住民への意識調査をはじめ、事業化に向けた課題の洗い出しを行い、必要な措置の検討や関係者の役割分担等の整理を進めることとしています。

### 2. 貨物輸送実験の実施概要

#### ① 日時

平成28年2月24日（水）午前9時30分～10時30分（※雨天時は翌日に順延）

#### ② 場所

徳島県那賀町鷺敷地区（徳島新聞鷺敷専売所付近）※飛行ルートにつき別紙参照。

#### ③ 実施の体制

実施主体：国土交通省総合政策局物流政策課

四国運輸局交通政策部環境・物流課

株式会社 日通総合研究所（調査業務受託事業者）

MIKAWAYA21 株式会社

操縦：ブルーイノベーション株式会社

協力：徳島県政策創造部地方創生局地方創生推進課

那賀町企画情報課

### 3. その他

- ・カメラ撮りを含め取材を希望される方は、あらかじめ、2月22日（月）正午までに、事業者名、人数、氏名、所属、連絡先を下記宛先までメールにてご連絡下さい。
- ※ 参加人数を制限させて頂く場合がございますのでご了承ください。

【問い合わせ先】 国土交通省物流審議官部門物流政策課 鈴木、近藤

代表：03-5253-8111（内線53-312） 直通：03-5253-8801 F A X：03-5253-1674

メールアドレス：suzuki-n2ma@mlit.go.jp、kondoh-y2ff@mlit.go.jp

【登録先】 徳島県政策創造部地方創生局地方創生推進課 加藤、松本

直通：088-621-2130 F A X：088-621-2829

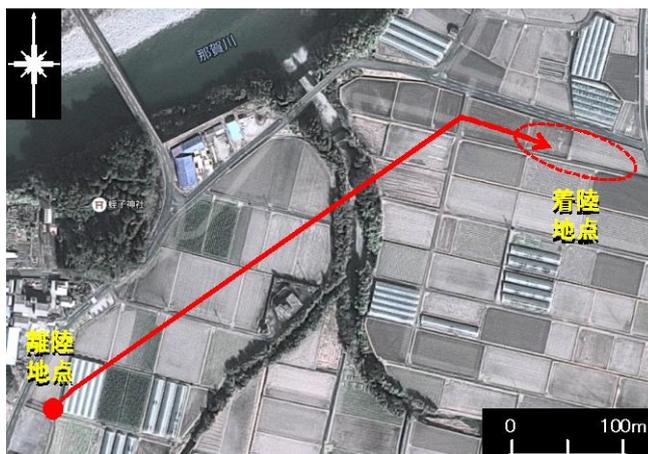
メールアドレス：katou\_takahiro\_2@pref.tokushima.lg.jp、

matsumoto\_shinichi\_1@pref.tokushima.lg.jp

## 飛行ルート

飛行ルートは、下図の離陸地点から和食を<sup>わじま</sup>北東方向に 500m 飛行し、畑地に着陸するルート。機体に貨物を搭載し、速度は 3m/s 程度、高度 50m 程度を飛行。フライト数は 1 往復の 2 回とする。なお、離着陸のみ手動操作とし、飛行は自動航行を予定。

(図) 飛行ルート



※ 取材当日は、那賀町役場駐車場をご利用頂くなど路上駐車のないようお願いします。  
また、カメラでの撮影は、安全を考慮し、離陸地点と着陸地点で、それぞれ当方が指定するエリアに限らせていただきますので、あらかじめご了承願います。

## (参考) 【今回の実験に用いる機体の概要】

機体の諸元等	
製造者	ブルーイノベーション株式会社
機体形式	8軸ローターのマルチコプター
機体寸法	直径：1,111mm 高さ：485mm
機体構成	カーボンファイバー製
重量	5.3kg (バッテリーを含む。)
最大積載量	約6kg
飛行性能	航続時間：最大20分 耐風性能：最大8m/s



機体外観



貨物を収納する容器